

こども園における自己評価結果報告

こども園における自己評価の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。
自己評価の結果を踏まえ、今後の教育・保育の質の向上並びにこども園運営の資質向上に努めて参ります。

A:たいへんよい
B:よい
C:一部検討を要する
D:改善を要する

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
教育・保育理念	(1) 理念や基本方針が職員に周知されているか		○			<p>・教育・保育方針の「三つのゼン」に基づき、どのような子ども像を目指すかを職員で話し合った上で教育・保育に取り組んでいます。今年度は「信頼関係」「チャレンジ」の二つの柱を意識して保育を行ってきました。職員間での話し合いを綿密に行い、職員が同じ方向を向いて教育・保育ができるようにしていきたいです。</p> <p>・園内研修で「人権擁護のためのセルフチェックリスト」を活用し、日頃の子ども達への関わり方を振り返り話し合いをしました。子どもの人格を尊重し、人権を大切にすることを今まで以上に意識し、保育にあたっています。</p>
	(2) 理念や基本方針が利用者に周知されているか		○			
	(3) 理念や基本方針に基づいた教育保育が行なわれているか		○			
	(4) 一人一人の子どもの人格を尊重した教育保育について共通の理解をもっているか		○			
教育保育の計画	(1) 社会状況や子どもの実態、地域性を考慮し、必要に応じて教育保育課程の見直しを行っているか		○			<p>・昨年度の課題であった地域との関係性については、地域の方の畑で芋掘りをさせていただいたり、散歩時に庭の花を分けていただいたりして、地域の方との繋がりが少しずつ広がってきました。様々なことを考慮し、教育保育課程を立てていきたいです。</p> <p>・保育参観や保育参加を計画し、日頃の子どもの様子を見ていただく機会を設けました。今後はアフターコロナの中で、保護者が参加できる行事のやり方を工夫していきます。</p>
	(2) 指導計画は、乳幼児の心身の発達を踏まえ、入園から修了までの長期的な視野を持って充実した生活が展開できるように配慮し作成されているか		○			
	(3) 子どもの生活が豊かになるように行事を精選し、子どもの発達を踏まえて、その内容や実施の仕方について見直しを行っているか		○			
子どもの発達援助	(1) 子ども一人一人の健康状態や発育・発達の状態を把握し、職員間にて共有されているか		○			<p>・保育者と給食職員が繰り返し話し合い、子どもの姿を見ながら食育を行う工夫をしてきました。特に法人内の公開保育では、0歳児が野菜を見て、触れて、遊び、興味を持ち、食べるまでの様々な経験を通してたくさんの学びを得ることができました。今年度の活動を活かし、来年度の食育へ繋げていきたいと思えます。</p> <p>・乳幼児にとっての環境はとても大切で、保育者の眼差し、動き、声掛け、関わりなど、ゆったりと落ち着いた静かな人的環境を意識していきたいです。子ども一人一人の思いに寄り添い、優しい雰囲気の中で温かく応答的な関わりができるようにしていきます。</p> <p>・子どもの行動や言葉などから一人一人を深く知るためにも、専門的な視点で観る目を養っていきたいです。そこから子どもとどのような関わりを持つのかを保育者同士で話し合い、日々の教育保育を行っていきます。</p>
	(2) 子どもが安定感をもって過ごし、自分の気持ちを安心して表すことができるよう留意しているか		○			
	(3) 子どもに相応しい食生活が展開されるように、食事について見直しや改善を行っているか		○			
	(4) 子どもが食事を楽しむことができる工夫をしているか		○			
	(5) 子どもが主体的に活動できるような、人的・物的環境が整備されているか			○		
	(6) 子ども一人一人を受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われているか		○			
	(7) 健康安全や発達の確保を十分に図り、日々の環境を整えているか		○			
	(8) 子どもが自ら周囲の様々な環境と関わり、発達に必要な体験を積み重ねていけるよう努めているか		○			

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
	(9)子ども自身が自分を肯定する気持ちを育まれていくよう、継続的な信頼関係が築かれているか		○			<p>・子ども一人一人の発達を把握し、職員で連携を取りながら教育保育を行っています。共有されていないこともあるので細かな部分も徹底していかなければならないと感じます。情報共有をきちんと行い、全職員で把握するようにしていきます。</p> <p>・その子その子に合わせた生活の流れを大切に保育を心がけています。特に乳児は一斉ではなく、生活リズムをつかみながら心地よい生活が出来るよう工夫をしていきます。</p>
	(10)保護者の生活形態を反映した子どもの在園時間の長短、入園時期や登園日数の違いを踏まえ、子ども一人一人の状況に応じた工夫が行われているか		○			
	(11)障がいのある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、教育保育の内容や方法に配慮されているか			○		
	(12)園児の発達や学びの連続性を見通した計画に基づいて、園児一人一人の発達の過程に応じ、一貫した教育保育を展開しているか		○			
保護者に対する支援	(1)子どもの発達や教育保育などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けているか		○			<p>・コロナ禍の中、6月に保育参観、11月に保育参加の機会を設け、保護者とのコミュニケーションをとり信頼関係を築くよう心がけました。懇談会などの話し合いの場を設けることができず、保護者同士の繋がりが持つことはできなかったため、次年度は懇談会の持ち方を検討し取り入れていきたいと思っております。</p> <p>・週二回開催している子育て支援室『あつぷぷ』では、毎回親子が楽しめる場の提供を行っており、利用者からの相談にも丁寧に対応し、信頼されています。また利用者から離乳食等の栄養相談があった場合は、給食職員が相談に応じ、連携をとっています。</p>
	(2)虐待に対応できる園内の体制(医療機関、児童相談所など専門機関との連携)の下、不適切な療育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び予防に努めているか		○			
	(3)地域の子育ての拠点として「こども園の開放」「相談・援助」「交流の場の提供」「情報の提供」の支援を行うよう努めているか		○			
教育保育を支える組織的基盤	(1)感染症やその他の疾病の発生予防に努め、看護師の専門性を活かした対応を図っているか		○			<p>・今年度、手足口病や胃腸炎の感染症が流行しました。100%防ぐのは難しいですが、初期対応がのちの感染拡大に繋がる可能性があることを十分に考え、園でできる予防をしっかりと行っていきます。</p> <p>・毎月、様々な災害の想定の下、避難訓練を実施し、子どもの安全確保が速やかにできるよう取り組んできました。今後も、各職員が自ら考えて臨機応変に行動できるよう、防災体制を徹底してまいります。</p> <p>・今年度は外部講師を招いて勉強会を行い、乳幼児期の心の発達や子どもとの関わり方について学んできました。職員が勉強するととても良い機会となっていますが、質の向上までには至っていないと感じます。次年度も勉強会を行い、職員が向上心を持って日々の教育保育にあたれるようにしていきたいと思っております。</p> <p>・保護者への説明の際に、事業計画、要望・苦情等に関する相談窓口を明記した文書を保護者に渡して説明し、苦情解決の仕組みについては園の玄関にもポスターを掲示して周知を図っています。今年度は、文書に加えて保育アプリ「コードモン」を活用して周知に努めました。</p> <p>・年3回の自己評価を行って園内研修等で話し合い、教育保育の振り返りをしています。PDCAサイクルを回して園の課題を職員で共有して改善につなげ、チームとして保育の質が高まるよう努めたいです。</p>
	(2)体調不良、アレルギー疾患等をもつ子どもに対し、適切な対応が行われているか		○			
	(3)避難訓練・安全点検・不審者侵入防止訓練等、子どもの安全確保のための適切な対応が行われているか		○			
	(4)地震などの自然災害に対する防災対策は行われているか		○			
	(5)施設長がリーダーシップを発揮し、職員が教育保育の内容の充実と質の向上を図れるよう努めているか		○			
	(6)研修等、教育保育の質の向上を図るべく、自己研鑽への取り組みを積極的に行っているか		○			
	(7)事業計画が職員に周知されているか		○			
	(8)事業計画が利用者に周知されているか		○			
	(9)守秘義務の遵守が全職員に周知され、守られているか		○			
	(10)個人情報適切に取り扱うとともに、保護者の苦情に対し、早期解決を図るよう努めているか	○				
	(11)苦情解決の仕組みが確立され、保護者等に十分に周知・機能しているか		○			
	(12)保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備しているか		○			
	(13)保育教諭等が主体的に自己評価に取り組み、教育保育の改善が図られているか		○			
	(14)個人の評価結果に基づき、組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施しているか			○		

やざき乳児保育園の評価結果に対する意見・コメント

保護者アンケート 100%の評価を得ている様に保護者から信頼されていると感ぜられます。

乳児向けに取組みがうまくなされていると思えます。

週二回のあそびは、丁寧に対応されていて、地域の方からも愛されている姿がみられます。

保育の質が高まるように努めているという課題も出されたので来年度に向け取組んで下さい。

アンケート保護者の意見がもっと出るといいですね。

令和5年3月16日

役職等 監事

氏名 飯沼清美  印

やざき乳児保育園の評価結果に対する意見・コメント

① トリ組み状況については、子どもに焦点が当たっており、わかりやすい文章表現になっていると思います。

② 子どもの心のよみ取りを深め、発達や関わり方の学びは、健康状態、環境整備、保育者との関係、発達援助としての課題などもあり、次年度も継続して行なってほしいです。

③ 目の前の調理は、待ち時間を短くし、自分を混ぜる等、工夫してみればどうでしょう。試行錯誤しながらの経験から、子どもにとって、保育者にとっての、問題点、見極め、確認等、出てくると思います。一覽にまとめてみるのもいいかもしれませんね。

④ 子育て支援室は、玩具等、とても工夫されており、保護者から信頼されている感じを受けたので、評価はAでもよいと思います。

⑤ 苦情窓口の掲示等、目線の高さ、位置、角度等、工夫してみれば、どうでしょうか。

令和 5年 3月 13日

役職等 監事

氏名 堅田 光恵  ㊞

やざき乳児保育園の評価結果に対する意見・コメント

開園から2年目を迎え、子どもたち一人一人を大切にされた保育がされていると感じました。保護者のアンケートでこの園を選んで良かったと100%の回答となっていることに表れていると思います。

ただ乳児保育園であることもあり、新米の保護者の方も多いと予想され、保護者が細かな点で不満や不安、戸惑いを伝えている様子が見えます。

保育者にとってはあたりまえと思うことでも丁寧すぎるくらいの説明が求められていると思います。また、繰り返し伝えることも大切です。保護者とのコミュニケーションをとり信頼関係を築けるように努めていってほしいと思います。

令和 5年 3月15日

役職等 監 事

氏 名 森 和 美

